

このソフトウェアアップデートにより、次の機能が追加または変更されます。本セットに付属の取扱説明書を読み替えてご使用ください。

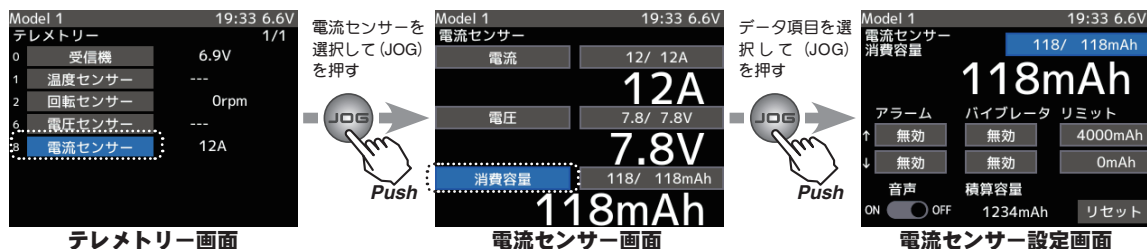
※モデルデータを他の T4PX にコピーする場合は、必ずコピー先の T4PX も最新版のソフトウェアにアップデートしてください。

## 1. テレメトリー電流センサー対応

弊社製電流センサー SBS-01C(別売)に対応しました。電流センサーを車体に搭載すると、動力用バッテリーなどの電流・電圧・消費容量を表示することができます。

テレメトリー画面の表示は、T4PX 取扱説明書の P131 を参照してください。

電流センサーを使用する前に、センサーを送信機に登録する必要があります。登録方法は、T4PX 取扱説明書の P138 を参照してください。



各項目アラーム / バイブ / リミットの設定方法は、他のセンサーと同じです。

### ◆消費容量表示

SBS-01C で測定した消費容量は SBS-01C のリセットボタンを押さない限り保持され、画面に "積算容量" として表示されます。一走行毎の消費容量を測定するような場合は、送信機側の消費容量表示を次の操作でリセットすることができます。ただし、送信機の表示をリセットする機能で、SBS-01C 本体の積算容量の記録はリセットできません。

### (リセット操作)

(JOG) で "リセット" を選択し、(JOG) ボタンを押します。消費容量表示が 0 にリセットされます。その後、再度リセットを行うまで、リセットを行った時点からの消費容量が表示されます。

また、SBS-01C のリセットボタンを押して消費容量をリセットすると、送信機の消費容量表示もリセットされます。



**注意**：送信機側でのリセット操作は、T4PX 側の積算容量表示のリセットで、SBS-01C 側の積算をリセットするものではありません。SBS-01C の消費容量測定範囲は最大 32767mAh です。これを超えた場合、送信機の消費容量表示も自動的にリセットされます。タイミングによっては計測中にリセットされてしまう場合がありますので、積算容量の表示が 32767mAh になる前に、SBS-01C 側での積算をリセットしてください。

## 2. 社外テレメトリーセンサー対応

以下の他社製テレメトリーセンサーに対応しました。詳細はセンサーのマニュアルをご参照ください。

### ◆ Castle TL0

※ Futaba ではこのセンサーの取扱いは行っていません。

### 3. ステアリングカーブ (ステアリング EXP) 微調整機能追加

ステアリングカーブに、左右独立にレート調整が可能な、微調整機能が追加されました。

ステアリングカーブ (ステアリング EXP) 画面の表示は、T4PX 取扱説明書の P56 を参照してください。

#### ◆ステアリングカーブ (EXP) の微調整方法

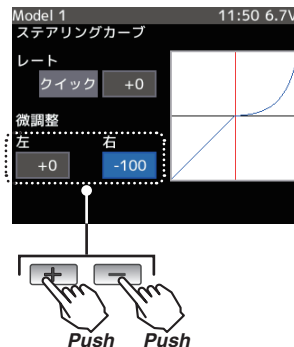
(JOG) で設定を変更したい方向のレートを選択し、ステアリングのサーボ動作をクイックにしたい場合は (+) ボタンで+側に、マイルドにしたい場合は、(-) ボタンで-側に調整します。

調整ボタン

- (+),(-) ボタンで調整します
- (+),(-) ボタンの同時押しで初期値 "0" に戻ります

調整範囲

-100 ~ 0 ~ +100%



### 4. ステアリングミキシング ミックスレート機能追加 / 舵角調整範囲拡大

ステアリングミキシングに、ミックスレート機能が追加されました。ミックスレートは、ステアリングの左右のサーボの動作量を一度に調整することができます。また、各サーボの舵角調整機能の設定範囲を最大 140 に拡大しました。

ステアリングミキシング画面の表示は、T4PX 取扱説明書の P84 を参照してください。

#### ◆ミックスレートの調整方法

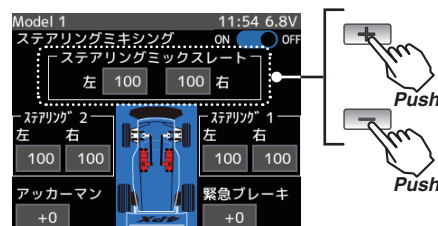
(JOG) で "ステアリングミックスレート" を選択します。ステアリングホイールを左、または右いっぱい操作した状態で、(+) と (-) ボタンで左右の各舵角量を調整します。

調整ボタン

- (+),(-) ボタンで調整します
- (+),(-) ボタンの同時押しで初期値 "0" に戻ります

調整範囲

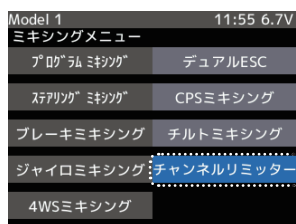
-100 ~ 0 ~ +100%



### 5. チャンネルリミッター機能追加

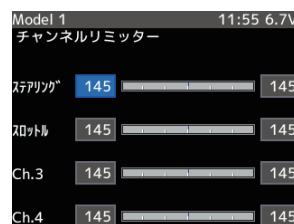
サーボの最大動作量を制限するチャンネルリミッター機能が追加されました。ミキシングの重複により、サーボの動作量が意図しない大きさとなった場合でも、リミッターを設定することでリネージュを保護することができます。

チャンネルリミッター画面は、ミキシングメニューから表示します。ミキシングメニュー画面の表示は、T4PX 取扱説明書の P79 を参照してください。



ミキシングメニュー画面

チャンネルリミッターを選択して (JOG) を押す



チャンネルリミッター画面

#### ◆チャンネルリミッターの調整方法

(JOG) で "調整するチャンネルレート" を選択します。

(+) と (-) ボタンで左右の各舵角量を調整します。

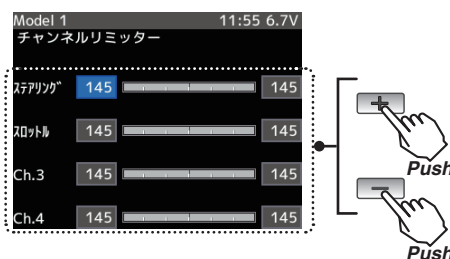
左右レートの間に表示するサーボモニター表示で、動作を確認できます。

調整ボタン

- (+),(-) ボタンで調整します
- (+),(-) ボタンの同時押しで初期値 "0" に戻ります

調整範囲

-100 ~ 0 ~ +100%



## 6.パイロット LED バックライト連動機能追加

パイロット LED に、バックライトとの連動機能が追加されました。

LED 設定画面の表示は、システムメニューから表示します。T4PX 取扱説明書の P144 と 147 を参照してください。

### ◆パイロット LED の設定方法

(JOG) で "パイロット LED" を選択し、(+) または (-) ボタンを押して設定します。

調整ボタン

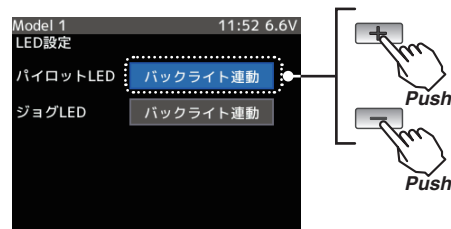
- (+), (-) ボタンで設定します

設定内容

"常時点灯" : パイロット LED ON

"バックライト連動" : 液晶画面のバックライトの減光時間の設定に連動して、輝度が落ちると消灯し、ジョグボタンやエディットキー操作で点灯。

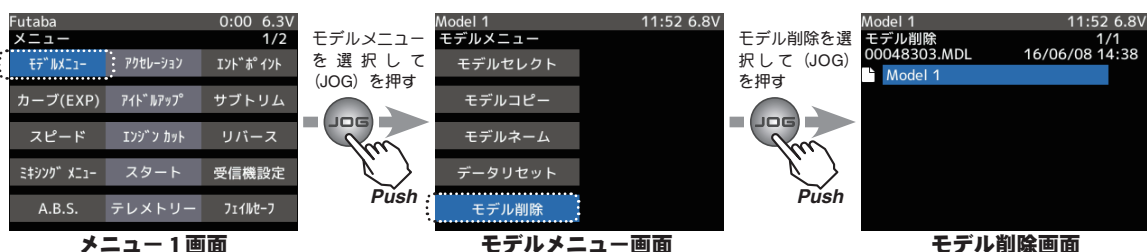
"消灯" : パイロット LED OFF



## 7.SD カード内のモデルデータ削除機能追加

SD カードに保存されたモデルデータを、削除する機能が追加されました。

モデル削除画面は、メニュー 1 のモデルメニュー画面から表示します。メニュー 1 画面の表示は、T4PX 取扱説明書の P43 を参照してください。



### ◆SD カード内のモデルデータ削除機能の使用方法

#### 1.(削除画面呼び出し)

モデルメニュー画面で(JOG)操作し、"モデル削除"を選択します。(JOG)を押してモデル削除画面を表示します。

注意 : SD カードを送信機のカードスロットにセットしている場合のみ、"モデル削除"は選択できます。

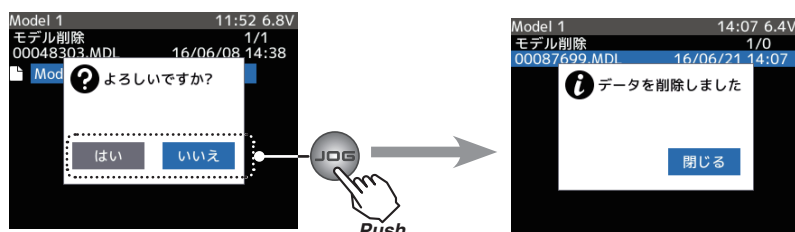
#### 2.(モデルデータの選択)

(JOG)を操作し、削除するモデルデータを選択します。最上段のカーソル位置から(JOG)ボタンを上、または最下段のカーソル位置から(JOG)ボタンを下に操作するとページが変わります。

#### 3.(モデル削除の実行)

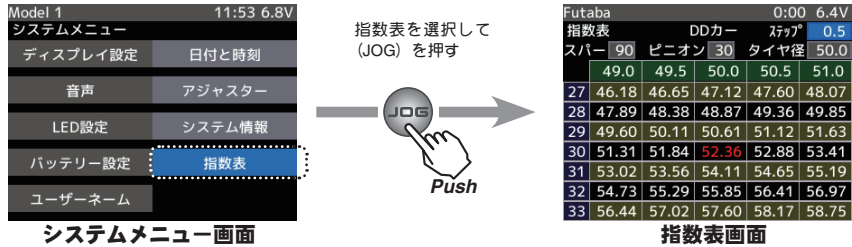
モデルを選んだら、(JOG)ボタンを押します。「よろしいですか」と確認メッセージが表示されます。実行する場合は「はい」、キャンセルする場合は「いいえ」を(JOG)操作で選択して、(JOG)ボタンを押します。

削除が完了すると、「データを削除しました」と表示されます。



## 8. 指数表機能追加

DDカー用の指数表機能が追加されました。入力したスパークギア、ピニオンギアの歯数とタイヤの直径から指数を算出し、一覧表で表示することができます。指数表画面は、システムメニュー画面から表示します。システムメニューの表示は、T4PX取扱説明書のP143を参照してください。



### ◆指数表機能の使用方法

#### 1. (指数表画面呼び出し)

システムメニューを呼び出し、"指数表"を選択して(JOG)ボタンを押します。

#### 2. (タイヤ径入力のステップ量設定)

(JOG)ボタンで"ステップ"を選択し、(+)または(-)ボタンを押して設定します。

ステップ量は0.1 mmから1.0 mmの範囲で設定できます。

#### 3. (スパークギアの歯数の設定)

(JOG)ボタンで"スパーク"を選択し、(+)または(-)ボタンを押して設定します。指数が計算され、一覧表が更新されます。

表の中央に赤く表示された数値が、入力値から求められた指数です。

#### 4. (ピニオンギアの歯数の設定)

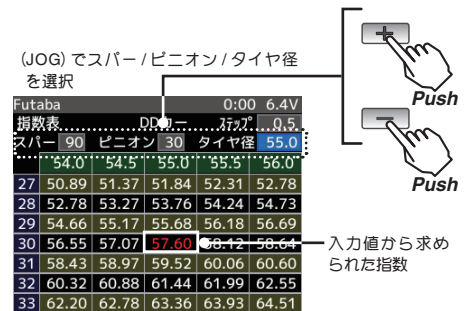
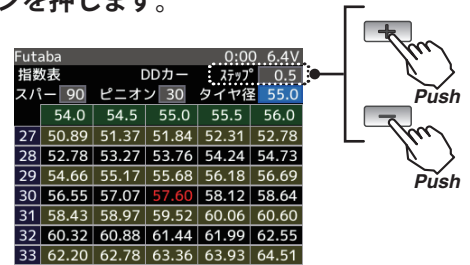
(JOG)ボタンで"ピニオン"を選択し、(+)または(-)ボタンを押して設定します。指数が計算され、一覧表が更新されます。

表の中央に赤く表示された数値が、入力値から求められた指数です。

#### 5. (タイヤ径の設定)

(JOG)ボタンで"タイヤ径"を選択し、(+)または(-)ボタンを押して設定します。指数が計算され、一覧表が更新されます。

表の中央に赤く表示された数値が、入力値から求められた指数です。



## 9. サーボタイプの設定表示の変更 (T4PX 取扱説明書の P36)

サーボタイプの設定画面で表記を以下の様に変更しました。

アナログサーボ→アナログ (ノーマル)

デジタルサーボ→デジタル (ハイスピード)

## 10. ディスプレイスイッチ (DSP) ON の画面表示の変更 (T4PX 取扱説明書の P16)

ディスプレイスイッチ (DSP) で電源を入れた場合、電波が送信されませんので初期画面の表示を右図のように変更しました。

